

県広報

とやま

特集 / 余暇ビジョン
トピックス / 富山の暮らしやすさ、
豊かさ



6

1993 No.293

植物写生

歌人 江沼半夏

E.S.S.A.Y

紙挟みのひもを解いて、四つ切りの紙を一枚ずつ手に取って眺めていると、鉄砲百合の絵の下に「この寸法の植物写生図 四年目にしようやく百枚となる」と書きつけていたのが目についた。昭和壬戌（一九八二年）六月二十六日の日付がある。私の植物写生も十年を越した。近年は本屋の店頭で各種の植物画集を見ることのできる。ボタニカルアートという言葉も知られるようになったが、私の志向したのは専門的学術的な植物画や日本画の模倣ではなかった。業余の息抜きとしての素人の写生である。

そのような素人画人の中でも、優れた成果を世に出している先輩を私は二人知っている。一人は佐藤達夫氏。現高岡市長の岳父に当る。生存中に出版された「花の画集」三冊はその最も美しい開花である。三冊めのあとがきで佐藤氏は



「秋田蘭画を思わせる」との批評を受けたことに、わが意をえたと書いている。克明な描写に稚拙な味がにじむ所を自らの絵に期しているのである。

もう一人は医学者で文人の木下李太郎氏である。その「百花譜」の内容見本の中に、たちつぼすみれを見た時の心おのきを忘れることはできない。すみれの絵の横には「昭和二十年四月十八日、大学」と書き添えてあった。第二次大戦中の暗うつな研究室の机上でスケッチをしたものであろう。

このような偉大な先達に学びながら植物写生を続けてきたのであるが、はるかに及ばない私にもそれなりの立脚地がある。現地写生の原則である。佐藤、木下両氏のスケッチは、草を根ごと掘り取るか花木の枝を切って室内に持ち込んでの仕事であるように見受けられる。私は自らに花を切らない事を命じた。野草などは切つてしまえば生気が衰え形も変りやすい。咲いた花はそれを包む大気の中で、ひざまずく心で写生すべきであるというのが私の覚悟であった。

六月の私の画材になった植物を挙げてみると、薊、野茨、二葉萩、窺大葉子、杜若、小甘茶などの他に馬鈴薯や胡瓜といった野菜もある。花



といえない様な地味なものが多い。ご参考までに私の用具を記しておく。2Bの鉛筆、紙はワトソン、MO紙、キャンソンなど。透明水彩、筆は日本画用のものを使っている。小さな座椅子又は地面に分厚い雑誌を置き尻を据えて日よけ帽をかぶる。

私の写生はあまり細密にしないで、A3版大一枚に約二時間かける。興味を持たれた方は試みてください。その時間中完全な安息があなたに与えられます。

「お囃子、和太鼓、モダンバレエなどを習ったり、全国の子供たちの前で芝居をした東京での六年間の劇団生活が今の活動の支えになっています」と語るのは、二年前東京から富山にUターンし、現在、富山で児童劇団くるみ座の代表として精力的に活動をしている岡部八穂子さん。

岡部さんが東京の児童劇団「風の子」に入団するため富山を離れたのは、八年前。「短大卒業後、自分のやりたいことが見つからなかったときに、たまたま幼児教育に興味があったことや当時同劇団員であった姉の勧めもあって児童演劇の勉強を始めました」。徹夜の稽古、制作、旅から旅への強行軍。そして舞台から見る子供たちの笑顔……めまぐるしい生活の中にも岡部さんの心のなかで次第に膨らんできた夢。それは、富山の子供たちのために身近な劇団を作りたいということでした。

帰省した際、そんな思いを観劇会や季節の行事などの活動に携わっていた母親やその仲間が受け止めてくれて、くるみ座を結成。現在では、和太鼓と紙芝居を中心に、手遊び、折り紙、人形劇などを盛り込んだ児童演劇を、幼稚園、敬老会、会社や校下のパーティなどで幅広く公演しています。「実際にやってみて、富山にはまだまだこういった活動団体が少ないことに気がきました。私たちがくるみ座では、子供や大人が一緒になって楽しめるようなそんなお芝居を目指しています。ですから私たちの公演をみた方から「自分もやってみたい。子供は、こんな簡単なことでもあんなに喜んでくれますね」という感想が寄せられたときが一番うれしかったですね。

六月に公演を控え、子供たちに新たな夢をとはりきる岡部さんは、このほど東京から地方にUターンした人を対象に実体験記を募った国土庁主催の「いきいき脱東京体験記」に応募し、みごと最優秀賞に輝きました。その一節には、東京の劇団を辞めるとき、お世話になった方から送られた言葉がこう記されています。「劇団で学んだこと、身につけたことを富山の子供たちのために生かして欲しい。そのためなら、私は心からあなたを送り出したい。」

ひとアズとやま



東京からのおみやげ

児童劇団くるみ座代表 岡部八穂子さん



ゆとりある地域づくり

主催 (社)農村環境整備センター

2



矢野 暢氏
京都大学教授



中道 宏氏
農林水産省構造改善局長



池谷 奉文氏
日本生態系保護協会会長



中根 千枝氏
社農村環境整備センター理事長



中沖 豊
富山県知事

ゆとりある地域づくりをめざして

農村環境整備シンポジウム開催

社団法人・農村環境整備センター主催の農村環境整備シンポジウム「人・文化・環境ゆとりある地域づくり」が四月十四日、東京・麹町の東條会館ホールで開催されました。

初めに矢野暢京都大学教授が「ふるさと再生を求めて―真の地方の時代を―」と題して講演。続いて「人・文化・環境―ゆとりある地域づくり」のテーマでパネルディスカッションが開かれ、中沖知事ははじめとする五人のパネラーにより、ゆとりある地域づくりについて活発な意見交換が行われました。

この中で、経済企画庁が今年発表した新国民生活指標において富山県が「住みよさ」で全国一位になったことや「働きやすさ」で第二位になったことなどコーディネーターの中村NHK解説委員から紹介されましたが、これを受けて中沖知事がその要因や「学ぶ」、「遊ぶ」など他の分野でも全国トップレベルにあること等富山県を大いにPRしました。また、「魅力ある地域づくりを進めていくためには、地方集権の推進が必要である」と強調。会場を埋め尽くした聴衆は熱心に聞き入っていました。

このシンポジウムの模様は、五月一日にNHK教育テレビの「土曜フォーラム」において全国放映されました。



カータースマイルは健在

ジミー・カーター元米国大統領来県



元米国大統領のジミー・カーター氏が四月十三日に来県し、富山市の名鉄トヤマホテルで開かれた特別講演会で世界の諸問題について講演を行いました。富山日米協会が招待し実現したもので、昭和五十九年五月に続いて二度目の来県となります。

約四百人の聴衆が熱心に聴きいるなかカーター氏は、「日本と米国がこれからも協力して世界人類の未来のために貢献しなければならぬ。など内戦や貧困に揺れる途上国への支援を積極的に行うべきことを強調していました。

また、この日の昼食会では、県関係者と、九年前の富山の思い出や国際交流について和やかに歓談した後、中沖知事から贈られた高岡銅器に強い関心を示していました。

十四日には、黒部市で市民との対話集会、タウン・ミーティング・イン・黒部」に出席し、一泊二日の日程を終えたカーター氏は、さわやかなカータースマイルを残しながら、空路富山を後にしました。



ピンク色のお湯でゆったりと

いきいき富山まるごと東京あつたかチューリップの湯

いきいき富山観光キャンペーン十周年記念イベントとして、四月二十九日「いきいき富山まるごと東京あつたかチューリップの湯」が催されました。

これは、東京都内のほほすべてに当たる約千七百軒の銭湯をチューリップの入浴剤を入れた「チューリップ湯」とし、お風呂を通じて東京の人々に富山のよさを感じてもらおうというイベント。東京・富山の各銭湯、砺波市のチューリップフェア会場を結んでのラジオ三元生中継もおこなわれ、各会場の様子が文化放送から首都圏を中心に放送されました。

富山での生中継会場となった婦中町かんぼ保養センターでは立川志の輔さんと県観光連盟の森谷事務局長が、ジョークを交えながら豊かな自然やおいしい食べ物など、富山の魅力をPRしました。

この「チューリップ湯」のほか銀座みゆき通りで開かれていたフラワーカーニバルでも、チューリップカーペットと称して歩道にチューリップの花びらで色とりどりのフラワーアートが描かれるなど、チューリップをメディアにした富山県のPRキャンペーンが、東京をまるごととりにんで繰り広げられました。



▲チューリップカーペット



豊かな緑を守り、育てよう

第44回富山県植樹祭

「この一本植えて私も緑化にひと役」をテーマに、四月二十八日、第四十四回富山県植樹祭が、福光町イオックス・アローサスキー場で開かれ、林業関係者、花とみどりの少年団員など約千三百人が参加しました。

式典では、中沖知事が「水と緑豊かな郷土を次の世代に引き継ごう」とあいさつ。林業や地域緑化に貢献した個人・団体を表彰した後、昨年の緑の日に生まれた福光町の山崎菜ちゃんに誕生記念樹としてナツツバキが贈られました。続いて、花とみどりの少年団の代表が「花と緑を愛し、花と緑を育てます」と誓いの言葉を述べ、団歌を声高らかに合唱しました。

式典後、「大きく育つように」との願いがこめられたコブシ、イロハカエデ、ツツジなど八種、約千二百本が参加者によって丁寧に植えられたほか、会場では、クチナシの苗木の無料配布、福光もちつき太鼓やパクラライターのアトラクションなども行われ、参加者を楽しませていました。

▶誕生記念樹を贈られた山崎菜ちゃん



とやま余暇ビジョン

～ゆとりと豊かさへの挑戦～

特集

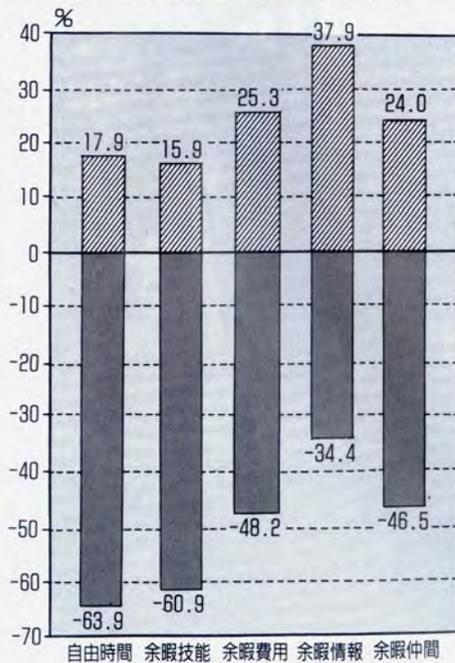
—はじめに—

近年、社会経済の変化の中で、人々の暮らしの意識は、ものの豊かさから心の豊かさへと変わってきており、人生80年の長寿社会を迎えた今日では、経済成長の成果を一人ひとりが実感できるゆとりある暮らしの実現が求められるようになってきました。

人生を健康で、個性的かつ創造性豊かに送るためには、余暇の充実が極めて重要であるという前提に立ち、ゆ・と・り推進富山県民会議と県では、このほど「とやま余暇ビジョン」を策定しました。これは、仕事中心の社会システムを見直すとともに西暦2000年までに実現すべき余暇環境整備の指針を示して、皆さんの自発的、主体的な余暇を支援していこうとするものです。



〈表3 余暇に対する積極性〉



平成2年富山県調査

という結果となりました。全国の調査結果と比べてみると、全体として参加率がやや低いといえます。また、余暇に対する意識についても、全体的に消極的な姿勢が見受けられます。

〈表2 余暇活動の種目別参加率(上位10位)〉

種目	富山県 (うち県も力を入れている人の率)	全国
1 外食(日常的なものを除く)	58.8% (0.7)	63.3%
2 ドライブ	58.5% (3.2)	58.3%
3 国内旅行	57.8% (7.8)	58.5%
4 園芸	50.2% (11.9)	34.9%
5 動物園	32.9% (0.0)	40.9%
6 パチンコ	30.6% (2.3)	29.8%
7 催し物	30.3% (0.7)	34.1%
8 ピクニック	30.2% (1.1)	36.6%
9 トランプ	30.0% (0.1)	37.8%
10 キャッチボール	28.2% (2.4)	23.3%

平成2年富山県調査全国レジャー白書'90 (余暇開発センター)

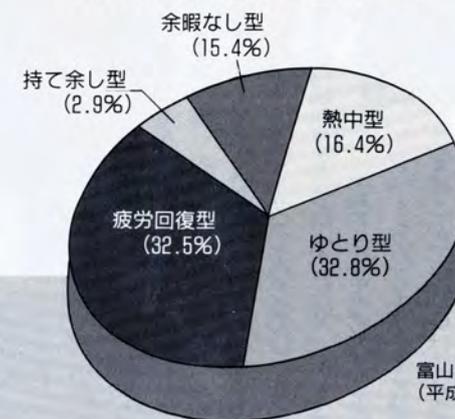


県民の余暇活動の実態

近年では、余暇も仕事と同様に、暮らしにとって重要なものという考え方が主流となってきました。

こうしたなか、県民の皆さんが余暇をどのように活用しているかを調査したところ、①自分なりにゆとりをもって楽しむ「ゆとり型」や仕事や家事の疲れを癒す「疲労回復型」が中心(表1)

〈表1 県民の余暇の過ごし方〉



富山県余暇生活文化行政実態調査 (平成2年10月調査)

②余暇活動の種目としては、「外食」「ドライブ」「国内観光旅行」で過ごす人が多い(表2)

余暇活動の課題

(1)「みやあらくもん」の再評価
 余暇活動は、それを行う人の意識に大きく左右されるものです。
 仕事よりも道楽に熱中する人を、富山の方言で「みやあらくもん」といいますが、自分の人生や余暇を楽しもうとする意識を育てるとともに、お互いの価値観や生活スタイルを認め合うことが大切です。

(2)「余暇名人」になろう
 いかに余暇を充実して過ごせるかは、自らの意識のあり方はもちろん個人の余暇に関する能力や技能にかかわるところが大きいものです。だれもが自分なりに「余暇名人」になって、人生を充実したいものです。

また、ある程度の技能を身につけた人は、地域の余暇リーダーとしての活躍が期待できます。

(3)「旅の人」との交流
 余暇活動が活発になると、さまざまな地域や国から多くの人々が富山にやってきました。そこにはきつとこれまでの慣習にとられない新しい出会いや発見があるはずです。「旅の人」を心から受け入れ、心の交流を深めたいものです。

(4)余暇環境の整備を進める
 富山県の雄大な自然環境を余暇の資源として見直し、余暇活動のための豊かな舞台としての施設整備、情報提供を進めることが大切です。また、ハンディキャップを持つ人も、余暇を楽しむ権利を持っています。すべての人々がともに余暇を楽しむ機会や場をつくりましょう。

県民のニーズに対応したサービスについては、官民が協力、連携して進めることが大切です。

(5)男女の役割分担の見直し
 富山県の女性の自由時間は、就業女性が多いことや、家事の負担が大きいことなどにより、一日平均では、男性より四十四分も短くなっています。

保育や高齢者介護などの公的サービスを充実するとともに、男性も家事に積極的に参加することにより、女性の余暇を充実したものにすることがあります。



21世紀の余暇活動に向けて

3 施策提案

余暇政策の柱としては、余暇の主体である「舞う人」づくり、余暇の受け皿である「舞台」づくり、余暇を支援する「シナリオ」づくりがあげられ、それぞれの施策について次のように提言しています。

(1)舞う人づくり

- ①余暇を楽しむ意識を育てるための各種キャンペーンの実施
- ②子供のころからの余暇を楽しむ能力の育成と、これから余暇活動を始めようとする指導者等の紹介
- ③情報交換や研鑽、相互評価を行なえる余暇仲間をつくるため、地域や職場でのサロンづくり

- (2)舞台づくり**
- ①労働時間短縮や休暇制度充実のための企業向けシンポジウムの開催や先進事例の紹介
 - ②夫や子供の家事参加や育児、介護サービスの充実等による女性の自由時間の拡大
 - ③学校施設の開放や体育施設の休日・夜間開館など多様な余暇需要に対応したサービスの充実
 - ④木陰のある歩道や河川敷の休憩施設など日常のゆとり空間の整備

- (3)シナリオづくり**
- ①県民の多様な余暇需要に応えるための余暇関連情報提供窓口の整備
 - ②余暇の資質向上のための余暇サービス従事者自身の余暇の充実
 - ③低利融資や経営指導等の公的支援による民間余暇関連産業の育成

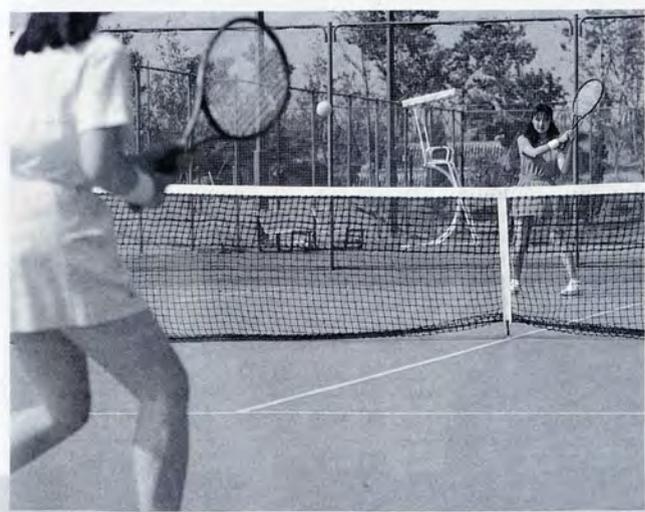
◎余暇は、自分の意志で自由に使うことのできる時間です。よく働く中にも人生を楽しむ人、仕事と余暇を両立させた自己実現を図ることができる人こそ、人生の達人といえるのではないのでしょうか。今一度、自分の余暇活動を見つめ直してみたいかがでしょう。

県では、働く人を対象に、『余暇活動発見プログラム』を作成しました。

これは、余暇活動の苦手な人に、自分にふさわしい余暇活動を見つけてもらうためのきっかけになればとまとめたものです。

興味のある人は、一度ご覧になってみませんか。

お問い合わせ先
 ☎930 富山市新総曲輪1-7 県庁企画調整室
 ☎0764-44-3108



とやま余暇ビジョン
 ~ゆとりと豊かさへの挑戦~
 特集

富山の暮らしやすさ、豊かさ

— 各種統計データ、アンケート調査にみる —

現在、日本は、かつてない豊かな時代を迎えたといわれています。実際に統計でも国民総生産では、経済大国であり、貿易収支では、黒字大国、一人あたりの国民所得は、世界のトップクラスにあります。

このように経済的な豊かさに手が届くようになったとき、人々の関心は、生活の豊かさや心の豊かさに移ってきており、今後、ますますそのウェイトは、高まっていくことでしょう。

そんな折り、最近では、各種データやアンケート調査に基づく地域別の暮らしやすさ感や豊かさについての諸統計がいくつもの調査機関から発表され、注目を集めています。私たちの生活の場である富山県は、一体どのような客観的評価を受けているのでしょうか。今回は、その統計のうちいくつかを紹介しします。



経済企画庁 新国民生活指標

平成5年4月8日

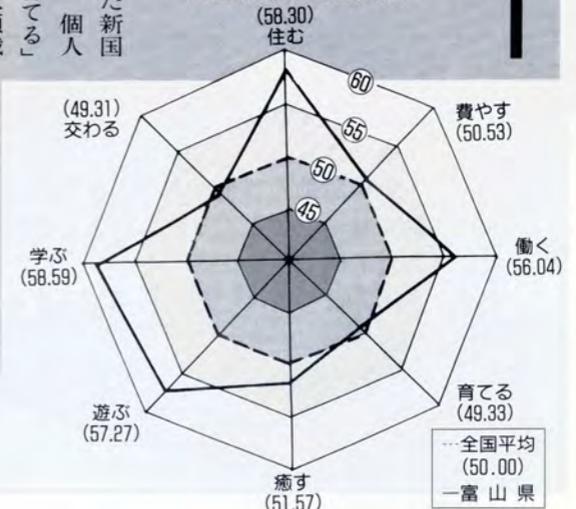
「住む」「遊ぶ」が
全国第一位 富山県

今年、経済企画庁から発表された新国民生活指標は、活動領域別として、個人生活を「住む」「費やす」「働く」「育てる」「遊ぶ」「学ぶ」「交わる」「癒す」の八領域に分類して、成人した個人の視点から豊かさを測定しています。

持ち家率の高さ、住宅の広さ・快適さ、犯罪や火災の少なさなど住環境を中心に高い評価を受けた「住む」分野と、豊富な自然公園などの自然環境、スポーツ施設のほか、劇場、音楽会場などの文化施設の充実が評価された「遊ぶ」分野で全国第一位となりました。

また、有効求人倍率の高さ、失業率の低さなど就業環境の面で「働く」が全国第二位、図書館・博物館数、書籍・雑誌の小売店数など生涯学習環境と成人一般学級の受講者数などの学習意欲の高さが評価され、「学ぶ」が全国第三位となっています。

富山県の領域別指標



「暮らしやすさ」総合偏差値と4分野の都道府県別ランキング (全体は5分野で構成)

	(全体)						(男性)					(女性)				
	総合偏差値	経済環境	安全・衛生	利便性	文 化	教 育	総合偏差値	安全・衛生	経済環境	教育・文化	利便性	総合偏差値	安全・衛生	経済環境	教育・文化	利便性
1 富山	77.0	58.5	72.2	67.3	75.9	56.1	72.9	75.3	52.6	68.8	65.9	71.5	75.7	54.4	63.1	69.2
2 東京	69.2	75.3	50.0	65.9	86.8	37.8	69.3	45.5	77.2	63.8	44.8	68.2	62.0	57.0	61.3	68.3
3 福井	68.9	59.9	63.8	62.1	53.7	60.1	67.6	63.9	58.7	60.7	61.1	66.1	52.9	60.9	61.0	64.6
4 島根	66.2	54.4	65.7	51.4	58.0	66.5	66.7	66.5	53.7	68.0	48.3	65.2	44.1	71.3	68.7	52.9
5 鳥取	63.6	58.1	56.3	62.4	55.3	58.0	64.6	58.6	59.6	55.2	68.1	64.2	50.4	66.8	53.6	57.5



日経産業消費研究所 都道府県別 「暮らしやすさ」指標上

平成5年1月5日

男女別・総合で富山がトップ
暮らしに関する「安全衛生」「経済環境」「教育文化」「利便性」の四分野三十二項目について、男性の目と女性の目で見えた暮らしやすさ指標を別々に作成し、四十七都道府県のランキングとして表しています。

これは、どのような生活の要素を重視するかは、男女それぞれにより異なるとの観点から、各項目ごとに重視度をアンケート調査してウェイトづけを試みたものです。

その結果、「日当たりの良さ」「物価」などの項目が重視された経済環境で、男女

時事通信社

地域政策情報

平成4年調査結果

官庁速報

平成5年3月18日

時事通信社が全国約七万人の成人男女を対象に、生活環境を十九の分野にわけて満足度や暮らしやすさについての調査を行いました。全国平均を上回った項目数の多さで全国順位を決定しています。

富山県は、「バス・鉄道などの公共交通機関の利用のしやすさ」と「気候・風土の面からみた暮らしやすさ」の二項目について全国平均を下回ったものの、「買物など日常生活の利便性」、「医療機関」、「公民館」、「文化施設」などの利用のしやすさ、

生活環境に対する満足度 — 暮らしやすさ —

順位	都道府県	19項目中、全国平均を上回った項目数
1	鹿児島	18
2	富山・福井 熊本	17
3	宮崎	16
4	群馬・新潟	15
5	北海道・栃木 石川	14



「美しい町並、伝統的行事」など十七項目で全国平均を上回り、鹿児島県に次いで全国第二位にランクされました。これまでの各種暮らしやすさの評価は、暮らしやすさ関連の統計に基づくもので、住民に実感がないとの意見もありました。この調査により、住民の生活実感からも暮らしやすさ全国トップレベルの評価を裏づけることになりました。

天上の笑みが 水面に降りて
息吹の群生が 香気に変わる

それは温容 それが情熱
それゆえ悠然として……

花信風かしんぷうの余韻あまねくの中
あまねく生命が交錯する瞬間とき

(八尾町白木峰)



撮影 / 赤羽仁論

自然豊かなふれあいの場

県民公園太閤山ランド

レポーター…武内 昌美(ミス立山クイーン)

太閤山ランドと言えば、誰もが気軽に自然やスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる憩いとふれあいの場所として、また昨年のエキスポとやま博の会場地として思い起こす人も多いことでしょう。私は、スケールが大きくロマンに溢れた博覧会のいくつかの記念施設を加えて、先頃、開園した太閤山ランドを訪ねてみました。



▲展望塔にて

ふるさとパレス

多目的施設の「ふるさとパレス」
空に漂う雲のような形をした屋根が特色のふるさとパレス内には、スポーツや文化等、多目的に利用できるアリーナとエキスポとやま博記念展示室があります。
アリーナはテニスコート三面分の広さがあり、テニスのほかバドミントンやバレーボールが気軽に楽しめます。また、床下には昇降用ステージが内蔵され、ミニコンサートなどさまざまなイベントが行えるような設備や装置が備えられています。
記念展示室では、噴水やマルチビジョンを楽しみながら富山の豊かな自然の雰囲気を楽しむことができます。また出展された展示物もあり、私に昨夏の感動を呼び起こしてくれました。

新しいシンボル「展望塔」

呉西地区のどこからでも望め、今では太閤山ランドの新しいシンボルとなった展望塔。それぞれ四つの空中回廊は東西南北の正確な方位に向けられていると、公園内は



▲エキスポとやま博記念展示室

私のおすすめは、同記念展示室内の映像シアターです。会期中にとやまワンダerlandで上映された「ときめき発見シアター」が十七分間の上映時間を通してきつと見る人に、新しい富山の発見を伝えてくれることでしょう。



▲展望塔

もちろん、遠く富山湾や立山連峰が一望でき、三百六十度のパノラマを楽しむことができます。また、内部にある磁石やプリズム、万華鏡、星座トランプライトや、中央空間に繰り広げられる霧と音と光による「霧のパフォーマンス」などで自然現象の不思議さや楽しさを体験することができました。

して多彩な活用ができ、たいへん楽しみです。

ただし、まだ芝生が育ちきっていないため使用できるのは夏以降で、それまでは芝生の成長を見守ってくださいとのことでした。



▲いきいき広場

自然の中で「集い楽しむ」

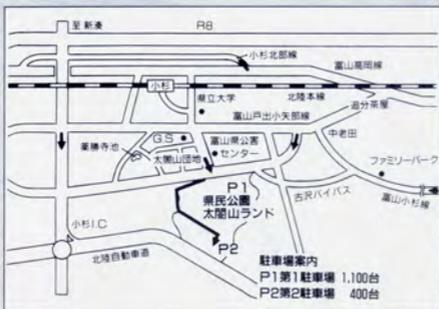
東、南、西が小高い丘陵、北には池、その間にゆるやかな芝生が広がる太閤山ランドは、まさに富山の自然の地形そのものと言えます。草花や緑の中に新しい体験や触れ合いができるレクリエーション施設に、この他にも、記念施設として噴水パラダイスなどが加わり、これまで以上に楽しいものになったようです。
「集い楽しむ」をテーマに花木で包まれた自然の小路を散策したり、広い園内をサイクリングしたり、芝生の上でくつろいでみたり、ボートを楽しんでみたり、施設で遊んでみたり。人それぞれの楽しみ方がありますが、私は次の楽しみ方を早速思案しながら、太閤山ランドを後にしました。



緑の大空間「いきいき広場」

太閤山ランドのほぼ中央に位置するいきいき広場は、博覧会開催時のいきいき広場を再整備したもので、一面に芝生を敷き詰めたゆるやかな空間は、二万人を収容できる野外劇場として利用できます。コンサートや演劇、各種展示場として、また県民が集い、語り、そして自由に遊ぶことができる芝生の広場と

■公園周辺交通マップ



■夜間開園のお知らせ

6月-5日、12日、19日、26日
7月-3日、10日、17日、24日以降毎日
8月-毎日
9月-4日、11日、18日、25日

施設	運転終了時間
ふるさとパレス (図書室を除く)	20:00 (入場は19:30まで)
展望塔	20:00 (入場は19:30まで)
噴水パラダイス	20:00
せせらぎの道	20:00
ソーラーハウス	20:00
駐車場	20:30 (入場は19:30まで)

■イベントのお知らせ

あじさい祭り	6/26~6/27
プール開き	7/10
魚つかみ捕り大会	8/8
ワイルドライフ	
フェスティバル	8/19~8/22
日やけチビッコ大会	8/22
サイクリング秋の集い	10/17
左義長まつり	平成6年1/15
第3回太閤山ランド	
冬の親子ふれあい大会	2/6

ふるさと みてある記

●入善町●

M I T E A R U K I

■入善町の概要 人口 29,417人(4月1日現在、
県人口統計調査より) 面積 71.29km²

黒部川扇状地の6割を占める広い平野に恵まれ、コシヒカリなどの良質米産地として知られる。チューリップや藤原イチゴの栽培も盛んで、富山ジャンボスイカは夏の味覚の王様。吉原沖の海底には、世界一古い海底林がある。



▼こんなケースがズラリと並び



仕事や学校の
▼帰りに汗を流す



▲林さん自作の土鈴

土の素朴な感じが魅力です

土鈴・土人形収集家 林 松造さん



◀林 松造さん

粘土を焼き固め、絵付けをした素朴なおもちゃである土鈴や土人形は縄文時代から作られ、江戸時代末期からは玩具として親しまれてきたという。

「五千から六千ぐらいあるんでしようか」と語るのは郷土玩具収集家の林さん。家の中には、全国から集められたさまざまな形、絵、色の土鈴と土人形が所狭しと並べられ、ちよとした資料館の雰囲気がある。

「素朴な感じにひかれたんでしようか」と語るのには郷土玩具収集家の林さん。家の中には、全国から集められたさまざまな形、絵、色の土鈴と土人形が所狭しと並べられ、ちよとした資料館の雰囲気がある。

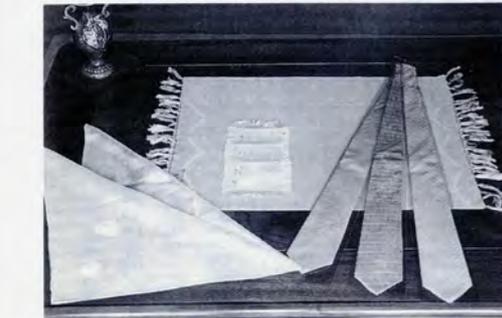
心も美しく染めあげる

チューリップ染め ホワイト・エレガ



「きれいな花びらが摘み取られて捨てられていくのはもったいないとずっと思っていたんです」と語るのは、チューリップの花びら染めを手がけている主婦グループ「ホワイト・エレガ」の長谷川さん。

▲みんなで集まって作業する楽しい時間



「品種によって染め上がりの色が全然違います。きれいに染めあげた時が一番うれいすね」生地は染色から製品になるまではすべて手作業。どんな色になるかは最後にアイロンをかけて仕上げるまでわからない。生地の下処理や染めの途中で少しでも気を抜くと染め上がりの色にムラがきたりするそう。グループのみなさんは、農作業などで普段からとても忙しいが、なるべく活動のための時間を作るようにしているという。「生地に針を通してしていると女らしい気分にはたれるんです」チューリップ染めの作業を通して、グループの皆さんの心も美しくゆとりにあふれた色に染まっていく。



◀生地を色素の中で煮こむ

健康づくりの輪が広がっています

入善町総合体育館

昨年十月にオープンした入善町総合体育館。二つのアリーナを持つ県内市町村最大規模の体育館であり、来年のインターハイや二〇〇〇年国体のバレーボール会場となる。このトレーニングルームが今大人気だという。

▼人気のエアロバイク



▶入善町総合体育館

「四月で利用会員が千人を超えたんです。女性の方の利用も急増していますね」と語るのは、入善町スポーツ振興課の田中さん。ここでは、リズムミカルの音楽が流れる明るい雰囲気の中、最新のトレーニング機器で体を鍛えることができる。一か月の延べ利用人数は千五百人。基礎講習を受ければ中学生以上なら誰でも会員になれるので、町外からの利用者も多いとのこと。

「自分のペースにあったプログラムで楽しくトレーニングできるんです」モデルプログラムもあるが、十三名のインストラクターが交代で指導にあたり、個々の適性にあったメニューを考えてくれるそう。

「利用者同志でお互いにトレーニング方法を教えあったりして仲間がどんどん増えていくようですね」スペースの提供が主な役割だったこれまでの体育館とは違い、ここには人と人とのコミュニケーションがある。今このトレーニングルームから健康づくりの輪が大きく広がっている。

互いに教えあっている▲

6月は「土砂災害防止月間」です。

土砂災害は、一瞬のうちに尊い人命を奪い、家屋や道路、鉄道等を破壊する恐ろしい災害です。万が一に備え、次のことに注意しましょう。

- (1) 危険度の確認
「土砂災害危険箇所図」を参考に、自分の家のまわりなどをよく調べ、危険箇所がないか確認しておきましょう。
- (2) 大雨の時は要注意
大雨、長雨や地震の時は危険です。気象情報に注意しましょう。
- (3) 避難場所の確保
ふだんから家族で話し合い、避難経路や避難場所を決めておきましょう。
- (4) 緊急避難の訓練
土石流は流下速度が速いため、流れと直角の方向に逃げるのが鉄則です。とっさの時の判断を誤らないために、定期的に訓練を行いましょう。



「土砂災害防止に関する作品募集」

平成5年度土砂災害防止月間の一環として土砂災害に関する作品を募集します。



滑川市立田中小学校6年 山岸直美

- 1、対象 小・中学生
- 2、区分 絵画 4ツ切り
ポスター 4ツ切り
作文 400字詰原稿用紙5枚以内
- 3、募集期間 6月1日～9月30日
- 4、作品送付先・問合せ先
〒930 富山市新総曲輪1の7
県庁土木部砂防課業務係
0764(31)4111
内線 4153

いい街は ひろめきときめき 響きあい

—6月は「まちづくり月間」です。—

一人ひとりが生きることの喜びと生きがいを味わえる生活空間を形成していくためには、皆さんの積極的な参画の下に創意と工夫を生かしたまちづくりを推進することが必要です。

皆さんの理解と協力を広く得ることを目的とした「まちづくり月間」をとおして、豊かで潤いのあるまちづくりについて、一緒に考えてみましょう。

まちづくり月間
6月1日～30日



(ボランティアを募集します!)

—学校5日制に伴う学校開放事業—

富山県教育委員会では、県立盲学校・ろう学校・養護学校が毎月第2土曜日に行う学校開放での活動に協力していただくボランティアを募集しています。

1. 実施日：毎月第2土曜日
2. 場 所：盲学校・ろう学校・養護学校
3. 申込み：上記の各学校又は県教育委員会 指導課 ☎(0764)44・3451

なお経験は問いません。協力していただける実施日の1週間前までに電話で申し込んでください。

『親子のふれあい木工教室』開催

ウッドルーム富山

私達の暮らしに身近な木の良さを、工作を通して実感して頂くために、「親子のふれあい木工教室」を開催します。木の香りの中で家族一緒に「状差し」づくりを楽しみましょう。

- 日時 7月10日(土) 午後1時30分より
場 所 小杉町黒河新 ウッドルーム富山
定 員 親子 30組(先着順)
参加費 800円
申込み ウッドルーム富山
☎0766・56・1570



立山博物館春季企画展
古絵図は語る

立山
イメージとそのカタチ

江戸・明治期の古絵図や版画には、山案内図や国郡絵図など、さまざまな用途があり、その中の立山の山容を詳細に見ていくと曼荼羅的要素を持ったものや象徴的描写をしたものに分類することができます。また概念図から測量図へ技法が進展していく過程においても、山容の描写に変化が見られます。今回の企画展では、当時の人びとが抱いた山に対するイメージや精神世界を立山の描写における変容を通して探ります。

日時 平成5年6月5日(土)～7月11日(日)(月曜日は休館日)
場所 富山県(立山博物館)展示館 企画展示室
詳しくは、〒930-14 中新川郡立山町芦峯寺93の1
富山県(立山博物館)
☎0764・81・1216まで

高岡文化ホール音楽友の会

作曲家 石井 歓かんの オペラ教室開催

この公演は、作曲家石井歓が自らの作曲によるオペラ「女はすてき」を通して、オペラの魅力、オペラ鑑賞のポイント等を、楽しく、分かりやすく解説するものです。今回はソプラノ独唱に丸山たい子、ピアノに秋田和久を迎え、美しく響きわたるオペラ・アリアと軽妙なトークによるお洒落な音楽会をお贈りします。あなたをオペラのとりこにする素敵なコンサートを、ぜひファミリーでお楽しみください。



石井 歓 丸山たい子

日時 6月16日(水) 午後7時
場所 富山県高岡文化ホール
入場料金
一般 2000円
学生 1000円
問合せ 富山県高岡文化ホール
☎0766・25・4141

第70回 記念

春陽展 富山展

大正11年に小杉未醒、梅原龍三郎らによって創立された春陽会は、日本の画壇の中で長い伝統を誇る美術団体のひとつです。

創立当初から、日本の伝統的な美意識に立脚した芸術を指向し、清新で個性豊かな作品を発表してきました。今回が初となる富山巡回展に展示するのは、この春に東京都美術館で開催された、第70回記念春陽展の出品作品の中でも、特に優れた作品と、本県から出品された作品を加えた約八十点です。

なお、初日25日の午後から、春陽会の作家による解説会を予定しています。

会期 6月25日(金)～7月11日(日)
会場 富山県民会館美術館
富山市新総曲輪4番18号
入場料 一般 500円(400円)
高・大生 300円(200円)
小・中生 200円(100円)
※()内は20名以上の団体料金及び前売・割引料金
主催 富山県教育委員会・富山県民会館
社団法人春陽会・北日本新聞社・北日本放送

第5回富山国際現代美術展 TOYAMA NOW '93 ART SCENE IN CENTRAL EUROPE

開催

この展覧会は、富山県立近代美術館が現代美術の動向を国際的な視野にたって紹介するため、3年に1度、一定のテーマのもとに開いているもので、日本を含む4ヶ国(もしくは地域)が参加しています。

今回は、「中欧のアート・シーン—Art Scene in Central Europe」をテーマに、ベルリンの壁崩壊後のドイツ周辺各国(オーストリア・ドイツ・スイス)に焦点をあて、東西の対話と融合が急速に進むヨーロッパ中部諸国の美術の動向を日本の美術動向とあわせて紹介します。

日時 平成5年7月3日(土)～9月15日(祝)
場所 富山県立近代美術館
観覧料 一般 950(750)円
高・大生 700(500)円
小・中生 400(300)円
()内は団体料金

4月11日 いきいき富山観光キャンペーン'93オープニングフェスティバル



4月12日 富山県防災情報システム竣工式・記念シンポジウム

4月13日 ジミー・カーター元米国大統領来県(～14日)

4月14日 農村環境整備シンポジウム

4月15日 警察音楽隊ふれあいコンサート



4月18日 富山県婦人週間のつどい

4月21日 父母のための就職ガイダンス

4月26日 富山空港国際線ビル、竣工式

4月27日 富山・ソウル便就航記念式典

太閤山ランドエキスポ記念施設開園式



4月28日 第44回富山県植樹祭

4月29日 まるごと東京あったかチューリップの湯

銀座みゆき通りチューリップカーペット

5月4日 立山山麓グリーンドキュメント(～5日)

5月6日 富山県青年・婦人海外派遣結団式



5月7日 平成5年度「とやま賞」贈呈式

5月9日 「看護の日」ふれあいトーク

農薬の適正な管理を

農薬散布中の事故は、減少傾向にありますが、依然として跡を絶ちません。また近年、自殺目的や清涼飲料水と間違えて農薬を飲用する事故も発生しています。

このため、農薬の緊用期である6月15日から7月14日までの一か月間、農薬危害防止運動が全国的に実施されます。

農薬の取扱いにあたっては、次の点に気をつけて、事故を未然に防ぎましょう。

- ・ 農薬散布を行うときは、防護装備を着用すること
- ・ 安全な場所に鍵を掛けて保管するなど、保管管理に十分注意すること
- ・ 清涼飲料水の容器等へ移し替えないこと
- ・ 使い残した農薬は、適正に処理すること

※ 農薬による危害が発生したときは、速やかに医師の診療を受けてください。

平成5年 7月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
4	日	小杉町「バスコ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
7	水	魚津市役所前	12:30～15:30
8	木	福光町役場前	10:00～15:30
9	金	新湊市役所前	12:30～15:30
11	日	高岡市中田支所前	10:00～15:30
12	月	入善町役場前	12:30～15:30
14	水	朝日町役場前 朝日町職工会館前	9:30～11:30 12:30～15:30
17	土	富山西武デパート前	10:00～16:00
18	日	富山西武デパート前	10:00～16:00
19	月	高岡市役所前	9:30～15:30
20	火	八尾町役場前 八尾町中央公民館前	9:30～13:00 14:00～15:30
23	金	福野町役場前	12:30～15:30
24	土	魚津市「サンプラザ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
26	月	黒部市役所前	12:30～15:30
31	土	JR富山駅前 富山市大広田ショッピングセンター「ルミネ」前	10:00～16:00 10:00～16:00

◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

6月3日は 測量の日です



『一人でも多くの方が地図に親しみ、測量に対する理解を深めていただけたら』との願いから、平成元年に「6月3日・測量の日」が生まれ、これまでさまざまなキャンペーンを展開してきました。

5年目の今年も、キャンペーンの一環として、雄大な北アルプス「立山連峰」を始め、私たちの祖先が生活の舞台として求めたこの大地を、視覚的・立体的に握えることができる「北陸地方余色立体地図」を準備し、自然や地理に対する関心を高めてもらうため、活用していきます。

町づくり、国づくりに土地に係る情報は欠かせないもの。「人工衛星による測量」や「地理情報システム」など、新しい技術の台頭が続いている測量技術は、これからも地域づくりのシュミレーションをバックアップしていきますので、皆様の、測量分野へのご理解・ご支援をお願いいたします。

建設省国土地理院(北陸地方測量部)

☎0764・41・0888(代)

富山県埋蔵文化財センター



釣手土器

県内の遺跡から出土した、調理・灯火のための道具や窯業・製鉄など、火の利用に関する考古資料を展示し、火を駆使した人々の技術と生活の知恵を探ります。

期間 平成5年6月8日(火)～10月14日(木)
休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日
入館料 無料

※詳しくは、富山県埋蔵文化財センターへ
(☎0764・34・2814)

企画展「火の考古学」

みなさんの相談窓口

表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
表2 エッセイ/江沼 半夏
P1 ひと/岡部 八穂子
P2 クロゾアアップ

交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400
相談110番
家庭問題・悪質商法・寛
せい刑など、どんな相談
にも応じます。
☎(0764)22-0110
シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、
悩みごとに富山県高齢者
総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

P6 特集/とやま余暇ビジョン
P10 トピックス/富山の暮らしやすさ、
豊かさ
P12 PIN UP TOYAMA
撮影/赤羽 仁論
P14 とやま遊学感/太閤山ランド
P16 ふるさとみてある記/入善町
P18 県からのお知らせ

5月4日、5日の両日、大山町のらい
ちようバレースキー場周辺で、立山山麓
グリーンランドキユメントが開催された。
初日には、雄大な自然を空から満喫でき
る熱気球やミニSLSが運行し、イベント
を盛りあげたほ
か、2日間をと
おしてバラグラ
イダーの全国大
会も行われ、トッ
プフライヤーの
繰り広げる華麗
な飛行が訪れた
人々の目を楽し
ませていました。



県政については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代
物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV 放送

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんには富山県です」

6/6 花を愛し、緑に親しむ
6/13 6月は土砂災害防止月間です
6/20 私たちのふるさとづくり②
6/27 映像の拠点誕生

ラジオ放送

- FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

魚の天気図⑮

今話題の魚

夏「キス」のいいシーズン

鯉釣りに外道

本格的に、キスが釣れだした。海底が砂地なら、湾内どこでも、磯から、堤防から、簡単に投げ釣りできる。舟釣りでは数がある。
年中釣れるが、初夏、岸に寄り、六〜九月に産卵(適水温十七・八度)——この頃餌づきがよくて釣りやすいし味もいい。
刺身は薄身、糸作りがうまい。桜種に「結びキス」、背開きし天ぷら。「キスの塩焼き」は、塩をふったらすぐ焼くこと。味は淡白で、病人向きの魚でもある。
キスは早朝に食いがたつ。頭を下に向けて海底の餌をあさる。動く餌が好きのため、ゴカイ・イソメが好餌、えびのむき身もいい。
キスは、細身でスマート、背は淡い黄色で腹部は銀白色——陽光に万化するパール・ピンク玉虫に輝いてまことに美しい。数尾釣れたら移動、キスは足で釣る。仕掛けが二本釣だとよく一荷ダブルで釣れ、上にキス・下にはメゴチが多い。メゴチ——ベトゴチで、鱗がなくべとべとねばねば。怒って棘をたてる、痛いノ左右の鰓ぶたに鎌状の棘をもつ。この棘に反りかえった小棘があり、厄介な外道

である。
この魚、実はコチ科のメゴチではなくて、ネズミ科の「ネズミゴチ」。別名「ノドクサリ」で、のど近くにある内臓は鮮度がおちやすく、異臭がひどい。新鮮なうちに内臓をとりすて、天ぷらにあげると、なんとこれがあのメゴチかと驚くほどうまく、舌にとろける。
その淡白な甘み……クルマエビとメゴチは、天ぷらの双壁といわれる。
梅雨鱈の 味噌汁うまし 浦泊り
キスと仮名書きするとKissを連想でも、キスは「一次魚名」で、名付けられたときは理由があったのだろうが、「潔(キヨシ)」の転とか、「帰す(キス)」による、という説がある。」今ではよく意味の分からない魚名のひとつである。
「真夜中や 鱈舟くだる 隅田川
ここでいうキスは、同じキス科の魚であるが、アオギスのこと。東京湾のヘアオギスの脚立釣りには有名。キスは砂地だが、アオギスは泥地に住む。ひきが強いので遊魚としては面白いが、味はキスの方が優る。
※アオギスに対してキスをシロギスと区別。シロギスの方は、晩秋になると深みに移るので、「落ちギス」ともいう。



〈キス〉



〈ネズミゴチ〉

集記 何が出るかな、何がでるかなく」と、くるみ座の岡部さんが私の目の前で、突然新作を披露してくれました。手拭いで、あつという間に動物の耳を作り、頭にかぶって一言「メエウ」。その手際とテンポの良さにすっかり感心し、私「アハハすごいなあ、ヤギの感じがよく出てますよ」岡部「あのー羊のつもりだったんですけどこれ……」(K)

Jリーグが開幕した。プロ野球も混戦状態。ほかに相撲、ゴルフと、最近スポーツの話題には事欠かない。しかし、それに気を取られ過ぎて、今の私はスポーツのない月曜日にしか落ち着いて原稿が書けなくなってしまっている。(A)

富山県に来てはや二ヶ月、仕事から機会ある毎に見物する日々を過ごしている。

しかし、思えば故郷・青森の祭りをどれだけ知っているだろうか。青森ねぶたは別にしても、弘前ねぶた、八戸三社大祭すら見たことはなかった。やはり身近なものにもっと目を向け、大切にしなければと思う今日この頃である。(O)

後代、風都をいよびながら
漁り中

No, Absolutely No!

ダメ。ゼツタイ。



青春の剣、飛びちる

西村知美

麻薬・覚せい剤・シンナーの乱用をやめよう。

Yes To Life, No To Drugs.

国連麻薬乱用撲滅の10年(1991~2000年)

United Nations Decade Against Drug Abuse

厚生省・警察庁

The Ministry of Health and Welfare, The National Police Agency.

財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター

Drug Abuse Prevention Center



このポスターの制作にあたっては、「競輪公益資金」の補助を受けました。



「ダメ。ゼツタイ。」普及運動

今日、麻薬等の薬物乱用は、全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、国の安定までを脅かすなど、深刻な社会問題の一つとなっています。

そのため、「国連麻薬乱用撲滅の10年」の支援事業の一環として6・26国際麻薬乱用撲滅デーの周知と、国内・外における薬物乱用防止に資することを目的として次の運動を行いますので皆さんの御協力をお願いします。

①626ヤング街頭キャンペーン(6月26日午後実施)

②地域団体キャンペーン(6月15日~7月14日)